

平成 30 年度第 2 回田辺市子ども・子育て会議 会議録	
開催日時	平成 30 年 12 月 20 日 (木) 午後 7 時 00 分～午後 7 時 50 分
開催場所	田辺市民総合センター 1 階 機能訓練室
内 容	(1) 第二期田辺市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査 (アンケート) の実施について (2) その他
出席委員	堀切委員長 山口副委員長 永井委員 竹中委員 坂本委員 玉井委員 愛瀬委員 川口委員 橘委員 湯場委員 太田委員 木村委員 弓場委員 計 13 名
欠席者	森本委員 橋本委員 中谷委員 西委員 坂口委員 赤松委員 中山委員 計 7 名
出席職員	保健福祉部 宮野子育て推進課長 宮田参事 坂井こども家庭係長 撫養主査 狩谷保育係長 西崎保育係企画員 教育委員会 学校教育課 嶺口指導係長 山田学事係長
報道関係者	紀伊民報
傍聴者	なし
事務局	<p>お昼間お仕事等でお疲れのところ、また、年末のあわただしい時期にもかかわらず今晚の会議に御出席頂き、ありがとうございます。</p> <p>予定の時刻となりましたので、只今より平成 30 年度第 2 回「田辺市子ども・子育て会議」を開催させていただきます。</p> <p>この会議は、会議条例第 4 条で、委員及び議事に関係のある特別委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができないとなっております。</p> <p>本日の出席は、半数以上の委員の皆さんに御出席を頂いております。</p> <p>なお、本日、私立幼稚園PTA代表橋本委員、幼稚園を運営する法人の代表中谷委員、田辺市自治連絡協議会坂口委員、田辺市子どもクラブ育成協議会赤松委員から欠席の御連絡を頂いております。</p> <p>また、この会議は、子ども・子育て会議傍聴規程に基づき、特別な事情のない限り傍聴を許可することとさせていただきます。</p> <p>併せて、議事録要旨作成・公開のため録音することについても御了解頂きたいと思っております。よろしく申し上げます。</p> <p>それでは開会に当たりまして、堀切委員長より御挨拶を申し上げます。</p>
委員長	(堀切委員長あいさつ) ～省略～

事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、本日出席しております職員を紹介させていただきます。</p> <p>(職員紹介) ～省略～</p> <p>それでは引き続き、会議を進めさせていただきます。</p> <p>本日の資料について、御確認をお願いします。</p> <p>事前に送付させていただきました、今回実施するアンケートの調査票です。</p> <p>就学前児童の保護者用と小学生の保護者用の2種類ですが、本日御持参頂けていない方がございましたら御用意しますので御申出頂きますようお願いいたします。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、これ以降は委員長に、議長として会議の進行をお願いしたいと思いますので、よろしくお願い致します。</p>
委員長	<p>それでは、会議次第に従いまして、会議を進めます。</p> <p>議事の(1)「第二期田辺市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査(アンケート)の実施について」、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、私の方から、今回行います、アンケート調査票の内容につきまして御説明いたします。座ったままで失礼致します。</p> <p>このアンケートは、来年度に策定する予定の「第二期田辺市子ども・子育て支援事業計画」で、確保を図るべき教育・保育・子育て支援の量の見込みを算出するため、現在、住民の皆さんが利用されているサービスの状況や、今後の利用希望について、このアンケートを通じて把握するものです。</p> <p>アンケートの調査対象は、0歳から小学校6年生までの児童の保護者の方を対象としておりますが、児童数で申し上げますと、保育所が公立、私立を併せて約1,400人、幼稚園が公立、私立を併せて約400人、認定こども園が約400人、小学校1年生から6年生までが約3,700人の全員と、0歳から5歳までの児童のうち、保育所や幼稚園に通われていない児童から約400人を抽出して、合計で約6,300人の児童の保護者となります。</p> <p>子どもが複数おられる御家庭の場合も、それぞれ調査票にお答え頂くこととしております。</p> <p>実施時期は来年1月中頃に保育所、幼稚園、小学校に通われている児童を通じて配布、回収するほか、保育所や幼稚園に通われていない、抽出の約400人には郵送により、配布、回収することとしています。</p>

ちなみに、前回、平成 25 年のアンケート調査は、就学前児童 2,960 人（保育所 1,079 人、幼稚園 881 人、0～2 歳児抽出 1,000 人）と小学校 1～2 年生 1,287 人の保護者を対象としていましたが、今回は小学校は全学年としたことから、大幅に調査対象者数が増えています。

小学校を全学年対象とした理由としましては、いわゆる学童保育の需要について、現在、田辺市では保育の必要な原則小学 3 年生までの児童を対象としていますが、平成 27 年の「子ども・子育て支援法」の施行に併せ改正された「児童福祉法」において、学童保育の対象が小学校に就学している児童とされたことから、高学年までの需要等について把握することとしたことなどが挙げられます。

それでは、アンケートの内容について御説明します。

就学前児童用アンケートを御覧下さい。

4 ページからです。

問 1 は「小学校区」についての質問です。

問 2 から問 6 までは、お子さんとご家族についての質問です。

問 7 については、お子さんの子育てや教育に影響すると思われる環境についての選択、問 8 は日頃、お子さんを見てもらえる方がいるかの質問です。

問 9 は教育を含む子育てをする上で相談できる人や場所があるか。

問 10 は子育てをする上で、周囲からどんなサポートが良いか自由意見を聞いています。

問 11 から問 12 は、保護者の方の就労状況についての質問です。

問 13 からは「平日の幼稚園・保育所などの利用状況」についての質問です。

問 13 は現在利用している事業あるいは、現在利用してはいるが希望する事業についての選択。

問 13-1 と 13-2 は、幼稚園での「預かり保育」の利用状況についての質問です。

問 13-3 は、今回国からの通知で追加した項目で、特に幼稚園の利用を希望するニーズを把握するものです。

問 13-4 は利用している幼稚園・保育所が市内かどうか。

問 13-5、問 13-6 は幼稚園・保育所を利用している理由、逆に利用していない理由について。

問 13-7 は、利用したい幼稚園・保育所は市内かどうかの質問です。

問 14、問 15 は「愛・あい」など、地域の子育て支援事業の利用状況について。

問 16 は、市の各種事業について、知っているかどうか、あるいは利用したことがあるか、今後利用したいかどうかの質問です。

問 17、問 17-1 はお子さんの土、日、祝日の幼稚園・保育所の利用希望について。

問 18、問 18-1 は夏休みなど長期休暇中の教育・保育の利用についての質問です。

問 19、問 19-1、-2、-3、-4 は、平日、幼稚園・保育所を利用している方への質問で、お子さんが病気の際の対応についての質問です。

問 20、問 20-1 は私用や親の通院、不規則の仕事などの場合に、お子さんが不規則で利用している事業があるかどうか。

問 21、問 21-1 は年間何日ぐらいの利用希望があるか、あるいはどういった事業形態を希望するかどうか。

問 22、問 22-1 は保護者の冠婚葬祭や病気でお子さんを泊りがけで見てもらったことがあるかどうかの質問です。

問 23 からは、来年から小学校にあがる 5 歳以上のお子さんの小学校就学後の放課後や長期休暇の過ごし方について、小学校 1 年～3 年生の低学年の場合と、問 24 は小学校 4 年～6 年生の高学年に分けての質問です。

問 25 では、小学校就学後、学校に「学童保育」や「子供の居場所づくり事業」があれば利用するかどうかについて。

問 26 では、利用する時期について。

問 27 では、利用料について。

問 28 では、日曜、祝日に学童保育があれば利用するかどうかについての質問です。

問 29 では、育児休業や短時間勤務制度など職場の支援制度について、制度の利用状況についての質問が問 29-9 までとなっています。

問 30 では、地域における子育ての環境や支援への満足度についての質問です。

問 31 では、子育ての環境や支援について、自由意見を記入してもらうものです。

以上が、就学前児童の保護者へのアンケート内容です。
次に、小学生用アンケートを御覧下さい。

問 1 から問 12 までは、就学前児童用と同じ質問ですので説明は省略しまして、9 ページをお開き下さい。

問 13 では、小学生の放課後や長期休暇日の過ごし方について、小学校 1 年～3 年生の低学年の場合と、問 14 では、小学校 4 年～6 年生の高学年に分けての質問です。

就学前児童用の問 23、問 24 と同様の質問です。

問 15 では、学校に「放課後子ども教室」や「学童保育」「子供の居場所づくり事業」がある場合の利用の選択について、問 16 では、学童保育を利用する時期。

問 17 では、学童保育の利用の有無。

問 18 からは、学童保育を現在利用中の方への質問です。

問 18 では、利用時間について。

	<p>問 19 では、保育料について。</p> <p>問 20 では、満足度の選択。</p> <p>問 21 では、良いと感じている点について。</p> <p>問 22 では、不満と思う点について。</p> <p>問 23 では、これまでに学童保育を利用したことがあるという方への質問で、利用を止めた理由を。</p> <p>問 24 では、学童保育を利用したことがない方への質問で、利用していない理由を。</p> <p>問 25 では、学童保育をかつて利用したことがある。利用したことがない。と回答された方への質問で、今後の学童保育の利用希望について。</p> <p>問 26 では、問 15 で子供の居場所づくり事業を利用する。または放課後子ども教室と子供の居場所づくり事業の両方を利用するを選択した方に、小学校区に学童保育があれば利用するかどうか。</p> <p>問 27 では、日曜、祝日に学童保育があれば利用するかどうかについての質問です。</p> <p>問 28 から問 28-4 は、お子さんの病気の際の対応についての質問です。</p> <p>就学前児童用の問 19 から問 19-4 と同様の質問です。</p> <p>問 29 から問 31 までも、就学前児童用と同様の質問ですので説明を省略します。</p> <p>以上、簡単ではございますが、アンケートの内容についての御説明を終わらせて頂きます。修正等について御意見を頂けますようよろしくお願いいたします。</p>
委員長	<p>それでは事務局の方から説明いただきましたアンケートについて、何か御質問、御意見はございませんでしょうか。</p>
A 委員	<p>3人いれば3人分、同じ回答内容だとしても全ての子どもの分を回答しなければならないのですか。結構なボリュームがあり、回収率がどうなるのか気になるところです。</p>
事務局	<p>前回のアンケート調査の結果で申し上げますと、就学前児童では配布数 2,960 件に対して、回収数 2,113 件、無効数が 7 件あったのですが、有効回収率は 71.1% となっています。小学校児童につきましては配布数 1,287 件に対しまして回収数 1,143 件、無効数 7 件で有効回収率は 88.3% でした。</p>
委員長	<p>回答された保護者の方に、ホームページとかなんらかの形で、こういった回答がありましたとか、アンケートの結果こうゆうふうになりましたとか出来ないのですか。</p>

事務局	<p>前回はそうだったように、この調査結果報告書を市のホームページに載せることで御覧いただけるかと思っています。</p>
委員長	<p>わかりました。</p>
B 委員	<p>0歳から小学校6年生までアンケートをするということで、子どもが多数いる場合、兄弟の数だけ記入しなくてはいけないのですか。</p>
事務局	<p>複数のお子さんがいらっしゃる御家庭にとっては、御負担もあるかと思いますが、それぞれ、アンケートに回答を頂くことを考えています。</p>
B 委員	<p>例えば、小学生ばかり3人いたとしたら、兄弟3人を学童などに預ける場合、別々の学童に預けるということはないと思うのですが、1人分の回答で済むというふうな訳にはいかないのですか。それでも、それぞれ回答が必要ですか。</p>
事務局	<p>可能性として、何人かの子どもさん分を1人分にまとめて、回答して頂くということもあるかと思いますが、例えば、学童保育の場合、今学童に行っている3年生までのお子さん、上の5年生、6年生のお子さんの場合、今は学童には行けないのですが、もし6年生まで学童保育があった場合は行かしたかったかどうか、とかの感じで回答を頂ければと考えています。</p>
B 委員	<p>龍神とか本宮には学童保育はないですか。</p>
事務局	<p>学童保育は、行政局管内では現在、大塔と中辺路で開設しています。龍神、本宮につきましては、アンケートにもございますが子供の居場所づくり事業ということで、長期休業日のみの開設ということになっています。</p>
B 委員	<p>中辺路では両方の事業をやっているということですか。</p>
事務局	<p>学童保育をやっている地域では子供の居場所づくり事業はやっていません。</p>
C 委員	<p>回答の仕方で、この用紙で回答するのですか。それとも別のシートがあるのですか。</p>
事務局	<p>このアンケート用紙に直接記入して頂くことにしています。</p>
C 委員	<p>例えば、問8で回答する場合、預かってもらえる人の有無の問いで1か2のどちらかに○をして、更にア・イ・ウ・エ・オ・カのところでもたいずれかに○を</p>

	<p>するということですか。</p>
事務局	<p>そうです。</p>
C 委員	<p>7 ページ、問 11 であれば、母親と父親の両方への質問が出てくるのですが、父親も回答するし、母親も回答するということになるのですか。</p>
事務局	<p>実際、御家庭でどのように記入して頂くかはそれぞれになってこようかと思いますが、こちらの考えとしましては、保護者の方のどちらかに記入頂くこととして、お父さんの就労日数、就労時間を。また、お母さんの就労日数、就労時間を記入頂きます。もし一人親であれば、片方が空白となるというイメージです。</p>
C 委員	<p>母親が記入する場合、父親の分も一緒に記入してもらおうという感じでいいのですね。</p> <p>14 ページ、問 29 で父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得したかどうかの問いで、母親が取得した場合 1 番に○をすることになると思いますが、下の点線で囲んだ 1 から 15 の項目は何でしょうか。</p>
事務局	<p>育児休業を取得していない場合の理由を、下の点線で囲んだ 1 から 15 から選択して番号を記入して頂くようにしています。</p>
D 委員	<p>問 28-4 の回答欄に「その他」として記入する欄があります。他の問いにも沢山「その他」記入欄がありますが、その括弧がいかにも小さいので回答しづらいと思います。記入欄を広げたほうが記入しやすいと思います。</p>
事務局	<p>御指摘のとおり修正させて頂いてよろしいでしょうか。記入欄を修正させて頂きます。</p>
E 委員	<p>H25 年のアンケートの結果を踏まえて、大きくサービスが変わったような事業はありますか。</p>
事務局	<p>前回のニーズ調査を踏まえ、従来からの事業で大きく何かが変わっているのかということかと思われませんが、調査結果によってそれまで行っていた事業が大きく変わったことはありません。この調査結果に基づいて保育所の定員であるとか、幼稚園の定員であるとか、学童保育所の定員あるいはその設置数とかを見定めて「子ども・子育て支援事業計画」を策定したということになっています。</p>
委員長	<p>他にございませんか。色々と御意見を頂きました。その他の項目のところの記</p>

	<p>入欄を広げるということで、事務局での修正、よろしくをお願いします。</p> <p>それから、アンケートの実施につきましては、特に、保育園、幼稚園、小学校の保護者会等で関係する委員さんにおかれましては、それぞれの団体での御協力についての御配慮をお願いします。</p>
委員長	<p>その他の項ですが、皆様方から何かございませんか。</p>
E 委員	<p>24 ページの地域子育て支援事業のところ、講習会とか企画・運営する事業とかはどんなものがあったのでしょうか。</p>
事務局	<p>地域子育て支援事業につきましては、現在、もとまち保育所内にある地域子育て支援センター「愛・あい」と、ちかの保育所の地域子育て支援センター「ちかの」の2箇所、子育てをされている保護者の方からのいろんな悩みごと相談や、子育て世代の親子が参加できるイベントを企画・運営するなどの活動をやっています。</p>
E 委員	<p>保護者への講習会のような事業はやっていないのですか。</p>
事務局	<p>地域子育て支援センターの活動につきましては、ふれあいの機会を提供する参加型の事業の方が多いのですが、そのなかで子育てに関する講演会の開催などの事業も行っています。</p>
E 委員	<p>具体的にどんな講演会があったのですか。</p>
事務局	<p>手元にある28年度の資料では、「子どもにとって、よいスマートホンの使い方」という内容で講演会を予定していましたが、感染症の蔓延で参加者のキャンセルが多数発生したことで中止となっています。</p>
委員長	<p>講演会は今後も開催するということで、考えているのですか。</p>
事務局	<p>テーマは変わりますが、毎年、講習会、講演会は開催していく予定にしています。</p>
D 委員	<p>地域子育て支援事業で「愛・あい」でやっている「青空広場」に主任児童委員としてお手伝いに行っていますが、子どもを連れて来てくれる方は問題はありませんが、来てくれない方を如何に誘って来て頂けるか、ということをいつも愛・あいの先生方とも話しあっています。新聞などにも載せてくれていますが、もっと何か方法を考えないと参加者が増えないのかなと思います。いつも大勢の方に</p>

	<p>来て頂いていますが、来ていただく方はだいたい決まっています、顔見知りばかりということが多いです。</p>
委員長	<p>実際来て頂きたい方が来てくれないといったことも多いと聞きますので、啓発、周知の仕方なども考えていくようよろしくお願いします。</p>
C 委員	<p>アンケートの回収の仕方ですが、期日までに学校へ届いた分を返すということではよろしいのですね。。小さな学校はともかく、大きな学校では催促することまではなかなか難しいと思われまますので、期日までに提出されない場合も、それはそれでよろしいですか。</p>
事務局	<p>督促まで考えていません。</p>
委員長	<p>他に、ございませんか。</p> <p>事務局のほうから、何かありませんか。</p> <p>特にないようですので、これで平成 30 年度第 2 回田辺市子ども・子育て会議を終了致します。</p> <p>それでは、閉会のあいさつを山口副委員長から申し上げます。</p>
副委員長	<p>(山口副委員長あいさつ) ～省略～</p> <p>(午後 7 時 50 分閉会)</p>